



コモنز30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2018年7月31日付)

基準価額	13,590円
純資産総額	566百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して
います(後述の「コモنز30+しずぎんファンドの費用について」を
ご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の
増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成
基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

● 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2018年7月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.52%	▲0.49%	▲1.82%	13.06%	21.98%	35.90%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモنز30ファンド (マザー)	91.2%	▲0.8%
静岡銀行株式	8.0%	▲0.1%
現金等・その他	0.9%	0.9%
構成銘柄	31社	0社

● 運用状況(コモنز30マザーファンドについての記載となります)

◎7月のファンド月間リターンとその要因

7月の当ファンドの月間リターンは、1.52%の上昇となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「エーザイ(+22.78%)」、「信越化学工業(+14.15%)」、「クボタ(+7.26%)」となりました。エーザイは、同社のアルツハイマー病治療薬の開発進展がポジティブ視されました。信越化学工業は、強みを持つ米国での塩ビ樹脂やカセイソーダの生産能力増強計画の発表が好材料となりました。クボタは、6月の大阪府北部の地震、7月の西日本を中心とした豪雨で各地に甚大な被害が出るなか、水道管や道路、河川などのインフラ老朽化が意識され、インフラ整備関連として注目されたものと思われます。下位3銘柄は、「SMC(▲7.75%)」、「資生堂(▲6.68%)」、「カカクコム(▲6.00%)」となりました。SMCは、中国で強みを持ちますが、米中貿易摩擦の激化で中国の設備投資冷え込みが不安視されました。資生堂は、米中貿易摩擦激化の影響で、業績を牽引する中国人顧客の購買意欲に陰りが出るのではと懸念されました。カカクコムは、4-6月の株価大幅上昇(34.37%上昇)の反動が出たことや、月末に発表されたぐるなびと楽天の資本業務提携に伴う競争激化などが株価の下押し材料となりました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡の銀行株式の月間騰落率は3.10%の上昇でした。

シニア・アナリスト 上野 武昭

◎運用責任者メッセージ

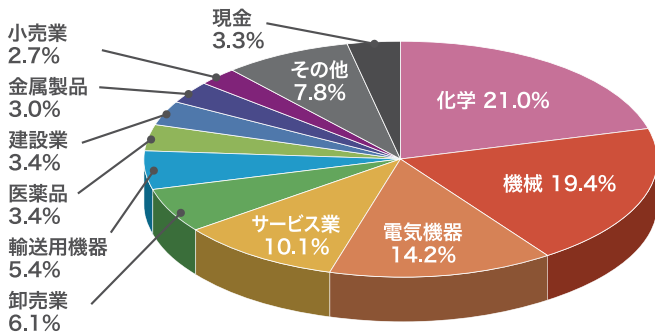
7月の内外金融市場は、米中貿易摩擦に対する懸念の高まりとそれに伴う中国株の下落、人民元安が注目されました。IMFも7月の世界経済見通しにおいて、2018年と2019年の世界経済の成長率3.9%を維持しつつ、貿易摩擦の長期化がもたらす経済成長のバラツキとリスクの高まりを示唆しました。また、月末の日本銀行の金融政策決定会合についても政策の変更(あるいは調整)の有無を世界中が注目しました。国内株式市場は、こうした注目材料に対して様子見気分が広がる中、3月決算企業の4~6月期決算発表への注目が高まりました。業種別では、石油石炭、鉱業、銀行業などが上昇する相場となりました。当ファンドでは、エーザイが新薬開発の進展などから上場来高値を更新するなど、カカクコム、ユニ・チャームを含め3社が上場来高値を更新し、ファンドの月間騰落率はTOPIX(東証一部株価指数)や日経平均株価を上回る1.52%の上昇となりました。引き続き、丹念な調査活動と企業との建設的な対話で、運用成績の向上に取り組んで参ります。こうした不確実な時代だからこそ、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

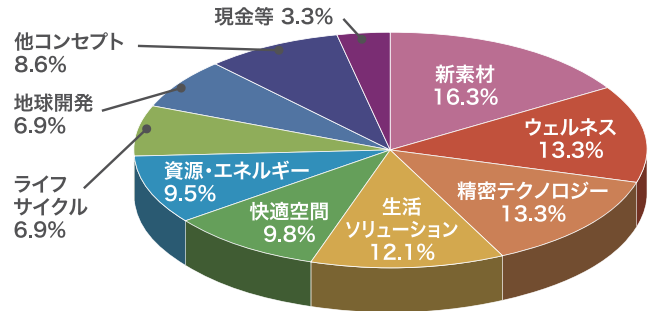
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

(2018年7月31日付)

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄 (静岡銀行株式を除く)

(2018年7月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.8%
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.8%
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.8%
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大	3.8%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.7%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.6%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.6%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.5%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.5%
6869	シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.5%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック!

7月はエーザイの株価が22.78%上昇しました。同社のアルツハイマー病治療薬(開発品コードBAN2401)の開発進展が注目されました。アルツハイマー病は、認知症の原因疾患の一つです。エーザイと開発提携先であるバイオジェン(神経科学領域に強みを持つ米国医薬品メーカー)が、早期アルツハイマー病患者を対象としたフェーズ2試験(比較的少人数の患者を対象に新薬候補の有効性や安全性などを調べる試験)において、病気の進行を抑制する効果が見られたと発表しました。新薬開発の成功のためには、フェーズ3試験(多数の患者を対象に有効性、安全性などを確認する試験)の動向を注視しなければなりません。株価には、今後の新薬開発の成功を前提とした期待先行の面も含まれています。ただ、現状で、根本治療薬がないアルツハイマー病の治療薬開発へのエーザイの取り組みは期待したいところです。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

コモンズ30ファンドの投資先企業をお招きし、定期的に行っている「コモンズ30塾」。2018/6/22は、ダイバーシティをテーマにして、味の素の取組みについてお話いただきました。

コモンズ投信会長渋谷健による開会の挨拶から始まり、運用部シニアアナリストの末山仁から、味の素について「5つの軸」と「コモンズの視点」について説明させていただきました。5つの軸とは、「収益力」「競争力」「経営力」「対話力」「企業文化」のことで、コモンズ投信が投資先企業を選ぶ時に、常に重視していることです。そして、今回のメインテーマであるダイバーシティへの取組みについて、理事/グローバル人事部長の高倉千春さまが登壇。

さらには、コモンズ30ファンドが行っている寄付のしくみである、SEEDCap第4回目応援先の認定NPO法人マドレボニータ代表、吉岡マコさんにもダイバーシティについてお話いただきました。

高倉さまからは、「私たち(味の素)は、事業を通じて解決に取り組むべき21世紀の人類社会の課題を、「地球持続性」、「食資源の確保」、「健康な生活」の3つとしました。そして、2014-2016年の中期経営計画では、これらの課題解決を図り、社会価値を実現することで新たな経済価値を創出し、事業の成長加速を目指す取り組みとして、「Ajinomoto Group Shared Value (ASV)」を掲げました。企業は、経済的な価値で勝負するものですが、同時に社会的価値もしっかり考えていかないと、これからは生き残っていきけません。私たちは、ASVを通じた価値創造ストーリーとして、『食を通じて、家族や人と人がつながり、多様なライフスタイルを実現できる社会づくりに貢献する』ことを、真剣に、真面目に非財務分野の重要課題に入れていきます。

さて、ASVを実現していくためには、社員が必要なのは言うまでもありません。でも、画一的な発想しか出てこない組織では、この不確実な時代を生き残っていくことは出来ません。いろいろな発想こそが必要で、だからこそ多様性のある組織を作る必要があります。だからこそ、ダイバーシティ、そして働き方改革なのです。」というお話がありました。

(講演内容の詳細はこちらからお読み下さい)

<https://park.common30.jp/2018/07/30-npo.html>

コモンズ30塾は投資先企業の「見えない価値」を「見える化」することが目的の一つです。今回、なぜ同社がこれほどまでに働き方改革に取り組んできたのかという背景をより詳しく具体的に知るよい機会となりました。ダイバーシティ社会の実現に向け、高倉さま、吉岡さま、渋谷による対談もぜひお読み下さい。<https://park.common30.jp/2018/07/blog-post.html>



高倉千春さま

吉岡マコさま



マーケティング部 福本 美帆

● ちょっといい話

【暑い夏こそコツコツつみたて】

さて、今年は記録的な猛暑。こんな時には、投資についてもあれこれ考えるのではなく、投資の自動運転＝「つみたて投資」で、この夏をラクラクと乗り切りたいところ。

そこで、今回は当ファンドの約9割を占めるコモンズ30マザーファンドでつみたて投資をされている方の声を紹介いたします。2011年1月、当時13歳の娘さんの教育資金を作ろうとコモンズ30ファンドで毎月2万円のつみたて投資を開始された方が、「今年、娘が20歳になりました。これまで基準価額の推移は見ていましたが、口座残高はあまり気にしていませんでした。20歳になるので改めて口座残高をみるとなんと330万円くらいになっていて、夫婦でビックリ。7年半での積み立て金額が180万円ですから2倍近い。これで社会人になるまで大丈夫。本当にコモンズ投信さんには感謝しています！」とのことでした。

つみたて投資としての年率リターンは15%程度。

この間、娘さんの成長とともにつみたて資産も順調に成長されたこととなります。

とはいえ、この7年半のつみたて期間中の国内株式市場を振り返れば、東日本大震災や75円に達するような超円高、チャイナショック、ギリシャ危機、英国のEU離脱、トランプ大統領の登場などによる大きな下落を何度も経験されたこととなります。

長期的なつみたて投資をされていると、そんなことすら雑音にしかならなかったようです。お客さまの大切な人生の節目で、お役にたてることは運用会社としてもとても嬉しいものです。何も、株式市場と24時間対峙しなければ投資成果が出ない、、、なんてことはありません。

ゆったり、コツコツとつみたて投資による資産形成は、本当にシンプルなものです。猛暑の夏、改めてつみたて投資をお勧めしたいと思った次第です。

当ファンドは、投資信託の評価をしているモーニングスター株式会社から総合評価で最高評価の5つ星を維持しています(2018年6月末現在^(※))。引き続き、当ファンドにご期待ください。

※ 運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■ コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

03-3221-8730

■ ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>